



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社シンシア
コード番号 7782 URL <http://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5695)7470

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	3,233	14.4	251	38.8	334	80.7	232	113.6
28年12月期第3四半期	3,778		410		184		108	

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 249百万円 (%) 28年12月期第3四半期 127百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	34.68	33.54
28年12月期第3四半期	19.23	

(注) 1. 平成28年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2. 当社は、平成28年9月8日付で普通株式1株につき100株及び平成29年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	3,130	2,315	73.9
28年12月期	2,848	2,026	71.1

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 2,314百万円 28年12月期 2,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		30.00	30.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成29年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますが、平成28年12月期の期末配当金については、当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,308	12.4	300	48.1	384	44.3	267	57.7	39.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	6,735,600 株	28年12月期	6,536,100 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	株	28年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	6,712,825 株	28年12月期3Q	5,667,000 株

(注) 当社は、平成28年9月8日付で普通株式1株につき100株及び平成29年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益が引き続き改善傾向にあるのに加え、個人消費も緩やかながら持ち直しており、全体として景気回復基調が継続しました。

このような状況の中での当社グループの状況は、カラーコンタクトレンズ市場の積極開拓、インターネット通販店やドラッグストアを介した新たな流通チャネル開拓への注力等の施策により、自社ブランド商品売上は堅調に推移しております。

一方で、収益性改善の取り組みとしてプロダクトミックスの見直しを実施しており、他社ブランド商品のOEM受注売上は前年同四半期と比較して減少しております。

損益面では、前年同四半期平均為替レートが108.6円/USDであったのに対し、当第3四半期連結累計期間平均為替レートは111.9円/USDとなり、仕入コストの増加を招いたものの、プロダクトミックスの見直しにより、前年同四半期においては自社ブランド商品売上とOEM受注売上の割合が49:51でありましたが、当第3四半期連結累計期間においては57:43と大きく自社ブランド商品売上比率が高まったことから、前年同四半期の売上総利益率が28.7%であるのに対し、当第3四半期連結累計期間の売上総利益率は29.3%となり、収益性が改善しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,233,742千円（前年同四半期比14.4%減）、営業利益251,213千円（前年同四半期比38.8%減）、経常利益334,121千円（前年同四半期比80.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益232,782千円（前年同四半期比113.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,933,837千円となり、前連結会計年度末に比べ253,087千円増加いたしました。これは主に売掛金が53,997千円減少したものの、商品が54,534千円、外国為替差入証拠金が255,859千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は196,185千円となり、前連結会計年度末に比べ28,413千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が4,945千円減少したものの、デリバティブ債権が33,938千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,130,023千円となり、前連結会計年度末に比べ281,500千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は778,331千円となり、前連結会計年度末に比べ2,289千円増加いたしました。これは主にデリバティブ債務が68,184千円、1年内返済予定の長期借入金が20,000千円それぞれ減少したものの、短期借入金が100,000千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は36,351千円となり、前連結会計年度末に比べ9,915千円減少いたしました。これは主にデリバティブ債務が5,087千円増加したものの、長期借入金が15,003千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は814,683千円となり、前連結会計年度末に比べ7,625千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,315,339千円となり、前連結会計年度末に比べ289,126千円増加いたしました。これは主に第三者割当増資による払込みを受けたこと及び新株予約権の行使により、資本金、資本準備金がそれぞれ52,425千円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が167,421千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は73.95%（前連結会計年度末は71.11%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、平成29年2月14日に公表いたしました平成29年12月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成29年11月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,137,026	1,105,315
売掛金	602,927	548,930
商品	577,518	632,052
貯蔵品	61,512	85,691
前渡金	47,231	14,207
繰延税金資産	4,448	9,640
デリバティブ債権	-	24,684
外国為替差入証拠金	214,011	469,870
その他	48,083	60,641
貸倒引当金	△12,009	△17,197
流動資産合計	2,680,750	2,933,837
固定資産		
有形固定資産	28,063	23,117
無形固定資産	14,335	16,369
投資その他の資産		
投資有価証券	1,658	1,645
繰延税金資産	3,039	650
デリバティブ債権	-	33,938
その他	122,046	121,835
貸倒引当金	△1,371	△1,371
投資その他の資産合計	125,372	156,698
固定資産合計	167,771	196,185
資産合計	2,848,522	3,130,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,183	182,775
短期借入金	200,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	40,004	20,004
未払法人税等	21,730	76,072
デリバティブ債務	132,697	64,513
賞与引当金	-	14,250
繰延税金負債	14	-
その他	217,412	120,716
流動負債合計	776,041	778,331
固定負債		
長期借入金	16,650	1,647
デリバティブ債務	29,617	34,704
固定負債合計	46,267	36,351
負債合計	822,308	814,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	208,899	261,324
資本剰余金	310,151	362,576
利益剰余金	1,496,389	1,663,811
株主資本合計	2,015,439	2,287,711
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	8,386	23,905
為替換算調整勘定	1,833	3,022
その他の包括利益累計額合計	10,220	26,928
新株予約権	553	700
純資産合計	2,026,213	2,315,339
負債純資産合計	2,848,522	3,130,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	3,778,604	3,233,742
売上原価	2,694,961	2,287,387
売上総利益	1,083,642	946,355
販売費及び一般管理費	673,236	695,141
営業利益	410,406	251,213
営業外収益		
受取利息	294	1,226
デリバティブ評価益	-	86,586
為替差益	164,152	-
その他	2,283	1,929
営業外収益合計	166,730	89,741
営業外費用		
支払利息	6,114	2,943
貸倒引当金繰入額	-	2,414
為替差損	-	1,008
デリバティブ評価損	385,802	-
その他	342	467
営業外費用合計	392,259	6,833
経常利益	184,877	334,121
特別損失		
倉庫移転費用	10,004	-
特別損失合計	10,004	-
税金等調整前四半期純利益	174,872	334,121
法人税、住民税及び事業税	67,313	111,082
法人税等調整額	△1,438	△9,743
法人税等合計	65,874	101,338
四半期純利益	108,997	232,782
親会社株主に帰属する四半期純利益	108,997	232,782

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	108,997	232,782
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△235,165	15,519
為替換算調整勘定	△1,221	1,188
その他の包括利益合計	△236,387	16,707
四半期包括利益	△127,389	249,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△127,389	249,490
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成29年1月20日付で、株式会社SBI証券から第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ48,300千円増加しております。

この結果、新株予約権行使による増加分を含め、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は261,324千円、資本剰余金は362,576千円となっております。

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。